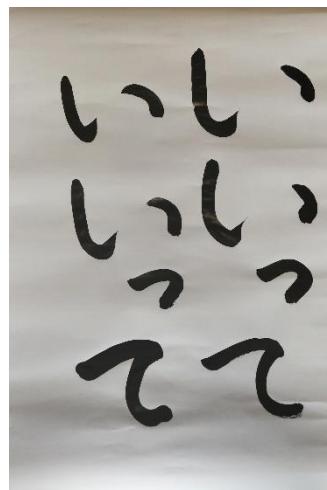


慶念寺の掲示板 第五十回

つながい



「いいつて いいつて」
 最近は、仕事とプライベートで色々と重なつて慌ただしく過ごしております。そういう状況に陥ると、段々と心の余裕がなくなつてしまします。ついよつとしたことにイライラしてしまい、口調が強くなってしまうことも増えてきます。そして、その後には決まつて「なんであるか言つてしまつたんだろう」と後悔してしまいます。

もちろん、注意すべきことはしつかりとする必要があります。でも、失敗は誰でもすることです。私たて、きっと沢山の失敗を許されてきたはずです。本当は鷹揚に構えていたい。でも、それがなかなか難しい。出来る時もありますが、出来ない時の方が多いかもしません。

帰敬式のおすすめ（法名）

帰敬式というのは、浄土真宗の教えをよりどころに生きる自覚を新たにし、生前に法名をいただく大切な儀式です。本来浄土真宗では生きている「今」に帰敬式を受式し法名をいただくのが本来のあり方です。ご希望の方は慶念寺にお尋ねください。

基準が揺らいでしまうのが私たちです。これを、仏教では「自己中心的なものの見方」と言います。これによつて、時として奪い合ひ、諍い憎み合つてしまつ。しかし、それをわかっていたとしても、いつでも「いいつていいつて」と互いに許し合うことは簡単にできることではありません。

ですが、そのような私たちだからこそ、阿弥陀如来という仏様は「いいよ。大丈夫。そのまま救いとるからね」と、私たちをまるごと包み込んでくださるんです。搖るぎ続ける私を、搖るがない慈悲のはたらきが包み込んでくださつていて。そのお慈悲をきかせていただいたからこそ、自分自身にも、周囲の誰かにも「いいつて いいつて」と鷹揚に構えていられる私でありたい。そう思い、今月の掲示を「いいつて いいつて」にいたしました。

と声明に満ちた「浄土法事讚作法」が勤まります。

そして、今回の団体参拝は、オプション形式。別紙のご案内に詳しく記載しておりますが、みんなで行動するのは基本的に法要の参拝のみ。ですので、前もつて自由行動するもよし、一泊して大阪方面に足を延ばすもよしです。参拝ついでに、自由にお楽しみいただけるような形になつております。

また、オプションといたしましては、西本願寺にある国宝書院（鴻之間）の中で、江戸時代から続く本山伝統の精進料理をいただくお斎接待と、豊臣の時代から続く「わらじや」での夕食を提案させていただいております。また、宿泊や新幹線も希望があればお取りする予定です。しかし、宿泊に関しては、個人で予約をお取りいたいた方が、費用が掛からない可能性もございます。ご検討ください。お申込み心よりお待ちしております。



先月の寺報で少しお知らせいたしましたが、今年度の本山の団体参拝は、十二月のお煤払いではなく、一月の御正忌報恩講に参拝をさせていただきます。

本山団体参拝のお知らせ

築地本願寺の報恩講に奏楽員として出仕します

こちらも毎年の恒例で

すが、十一月十一日

(土)から十六日(木)



までお勤めをされる築地本願寺の宗祖報恩講に奏楽員(雅楽を演奏する僧侶)として住職が出仕をいたします。奏楽員出仕は当番制で、住職が出仕をするのは十二日から十四日の午後二時からの法要と十六日の十時からの法要です。

この中で、住職が主管を務めるのは十二日の午後。また、十三日の午後は結衆として、本願寺派のご門主様が御導師をされる法要に出席をいたします。

大勢の僧侶と、莊厳な雅楽の演奏の中勤まる法要は大迫力です。是非ご参拝ください。

仏事について何かあつたらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかねる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。また

日程や会場・葬儀社がお決まりでも、お寺への連絡は直接お願いいたします。

発送作業のお手伝いのお願い

寺報の発送作業のお手伝いをしていただけます方を募集いたします。

日時・令和7年11月十九日(日)

法話会に引き続き

場所・慶念寺本堂

内容・寺報等の封筒詰め作業

みんなでワイワイとおしゃべりしながらやつてある発送作業です。寺報を折つて封筒に詰めるだけ。時々子どもたち参戦してみんなで楽しく作業をしています。お時間ありますたら是非お越しくださいませ。ご希望の方は、終了後に駅までお送りいたします。

団体参拝の大まかな計画が決まりました。今回は、すべての行動を共にするガチガチのパッケージツアーワークではなく、参拝しつつも自由に旅行も楽しめる計画となっています。参拝だけ参加して、後は完全に別行動でも大丈夫です。そのなかでも、個人的にお勧めしたいのがお斎接待。生涯で一度は体験していただきたいです。狭き門なので頑張って申し込みます!

本願寺参拝を口実に、京都旅行を楽しんでみるのもいいかもしれません。

また、築地本願寺の報恩講もだんだんと近くなってまいりました。私が出仕するのは四座のみですが、主管の日はもちろん十三日の結衆はご門主様御導師のもと勤められる法要。こちらは少しのミスも許されません。本山から沢山の式務職の方がいらっしゃっての法要。緊張感は桁違いです。ああ、緊張する・・・

編集後記



淨土真宗本願寺派
歓喜山 慶念寺

〒214-0012

川崎市多摩区中野島 4-24-2-5
電話: 044-819-5482
FAX: 044-819-5538
Email: mail@kyounenji.com
ホームページ URL
<https://kyounenji.com/>



慶念寺ホームページ QR コード